

# 自転車運転 正しい知識を

## 鶴尾小で教室 4年生20人が学ぶ



交通ルールを守りながら模擬コースを走行する  
児童—高松市松並町、鶴尾小

自転車の安全な乗り方や正しい知識を身に付けてもらおうと、高松市松並町の鶴尾小学校(田中義人校長)が27日、同校で4年生を対象にした自転車教室を開催した。児童約20人が参加し、

交通ルールの順守やヘルメット着用の大切さなどを学んだ。教室は、市の協力を得て毎年実施。同校では、教室を受講した4年生以上に校区内を一人で自転車に乗る

ことを認めており、2年前から同校PTAから寄贈されたヘルメットを4年生に貸し出している。

この日は市交通安全指導員6人が同校を訪れ、交通ルールや自転車の乗り降りの仕方などを実演を交えて説明。その後、児童たちは交差点での一時停止や安全確認に注意しながら、体育館内に設けた模擬コースを自転車で行った。

黒川愛鐘さん(9)は「自転車に乗る時はいつもヘルメットを着用している。これからも必ずかぶり、事故に遭わないようにルールを守って運転したい」と話していた。

自転車教室に先立ってヘルメットの貸与式もあり、PTA役員が「事故のないよう安全に乗って」と述べ、児童一人一人にヘルメットを手渡した。